

文中の用語説明

クラウドファンディング

製品やサービスの開発、出店等の目的のために、インターネットを通じて不特定多数の人から資金の出資や協力を募る手法。

NPO

(Not-for-Profit Organizationの略)

福祉や環境、まちづくりなど、社会の多様化した問題に対応する社会貢献活動を行い、活動によって得た収益は構成員に分配せず、社会貢献活動に充てる非営利団体の総称。

ソーシャルビジネス

福祉、環境、まちづくりなど、公共的な分野における社会的課題を解決するために、財やサービスを提供して対価を受け取ることで、継続的な活動が可能な財源を確保する事業を指す。

メンター

ここでは、創業希望者や創業者にとって、抱えている問題や悩みを打ち明けることができる良き相談相手であり、助言者となる者を指す。創業希望者や創業者にとっては、既に創業経験を持つ先輩経営者などが該当する。

チャレンジショップ

空き店舗や事務所を活用して、新たに地域に根ざした特色ある店舗などを始める人が、事業を体験しノウハウを得ることを支援するもの。自治体や商工会議所などによって、賃借料の一部補助や専門家による経営指導などの支援が行われている。

インキュベーション

(インキュベート、インキュベート機能)

起業家の育成や、新しいビジネスを支援する仕組みを指す。創業前後において施設や機器を提供するとともに、多くは創業や経営、その他専門的な知見を有するインキュベーションマネージャー（人員）を配置し、ハード面だけでなくソフト面での支援を行っている。

プロパー融資

信用保証協会の信用保証を介さず、金融機関が自己の責任100%で実行する融資のこと。通常、創業して間もない事業者に対しては、金融機関は信用保証協会の保証付き融資を優先するため、プロパー融資を受けるハードルは高い。

コミュニティビジネス

従来の行政（公共部門）と民間営利企業の枠組みだけでは解決できない、地域問題へのきめ細やかな対応を地域住民が主体となって行う事業である。社会貢献性の高い事業であると同時に、ビジネスとしての継続性も重視される点で、いわゆるボランティアとは異なる性格を持っている。（出典：中小企業白書 2004 年版より）

コンシェルジュ

(コンシェルジュ機能)

創業者・創業希望者から受けた相談内容に応じて、彼・彼女らが真に必要な支援課題や支援時期などを多面的観点から洞察し、最も適切な対応ができる支援機関、的確な支援メニュー、支援時期といったサービスを案内することで、円滑な創業支援が実施されるよう取り計らう役割、またそのための機能を意味する。